

須磨(下) (今様須磨の寫繪)

へかくとも知らず姉妹は へもつれし髪もツイとけやすき 千筋結ぶ
の女同士 伊勢の二見がうらなくも 見ゆる鏡に顔と顔

へアノマア行平様は 二人を先へとおつしやつて そうして今に
もお見えなされぬは

へ大方隠れて私等を おなぶりなさるお心でござんしょうわいな
ア

へコレ妹 合点のゆかぬアノ松に 行平様の烏帽子狩衣才

へオツほんにどうしてアノ松へ

へ心ならねば走りより 松にかけたる二品を へ疾しやおそしと
りどりに

へ立ち別れいなばの山の峰に生うる まつとし聞かば今帰りこん

へ立ち別れいなばの山と遊ばしたは

へもしや都へ

へエ、

へ満潮待が出船の習ひ こりやこうしては

へそんなら姉さん

へ妹おぢや

へいぎと互に褌引上げ 馳せ行く向うへそりさげの へ奴のこの 此兵
衛が 留めた手足もふしくれし すねた心の松の木男 へ酒と女に

目がくれて顔に似合はぬ色上戸 へここで押へた姉之達手元三桝に
三ツ扇 ちよつとあいなら石ごきで ニツ輪青う桐の文字 どうでご
んすとしなだるる

へこりや誰かと思へば此兵衛さん

へ急ぎの用がある程に

へちやつと通して下さんせいナア

へオツトその用知っている アノ帰路の行平が 後をしたうてゆ
くので有ろうがナア

へすりやもうアノ行平様には

へとうに都へ 行んだわやい

へチエエ

へハツとばかりに松風は 正体もなく伏沈む へ妹も共に涙ぐみ

へエエつれない行平様 三歳がほどのうき恋を 仇に都へいぬると
は

へエエ曲もなや朧慾な へなんぼつれないお心ぢやとて言い交はしたる
言の葉を 此方は忘れず待わびて 共々お供と村雨が 行くを引

き止め

へそりゃ悪い

へなんぼそさまが蚤の子ちゃとても 五町や十町は泳ぎもなろがむぐりもしよがの とても行かりよか波の上そこらをおれが才覚で へ沖の洲崎に茶屋立て立させて上り下りの船を待つ へヤレコレ田楽そば 奈良茶

へエ、おかしんやせ 其様な事エーモ 知らぬわいなア

へわれがそれほど思ふ物 モウ留めもせぬ おらがて船であと

追っかけ 恨のたけを

へ嬉しうござんすとはいへ姉さん

へハテあとおれが引受けたここかまはずと

へそんならあとを 頼んだぞエ

へ飛立つばかりかひがひしく 真砂をけ立てて一散に 御跡しとうて走り行く

へヤレヤレこれで邪魔を払うてのけた これからは姉の松風

ヨーこりや気を失つたか心をつけるコレ松風／＼ヤアイ

へ呼ばれてふつと松風は 心づくよりうろ／＼と 形見の狩衣抱きしめ

へ形見こそ今は仇なれこれなくば

へ忘るるひまもありなんと 詠みしもことわりやなお思ひこそ深かりし

へ申し行平さま 何故に物をばおつしやらぬのぢゃ夕べの後のお

言葉を 聞きたいわいなエ、モウ／＼

へんハアア可愛やこいつ気が違うたな

へオオ気狂ひぢや／＼ 春と夏との

へムー

へ季違いは

へ笑ふ山辺になくほととぎす ほぞんかけたと走れば走る 蝶も菜種に物狂ひ

へコリヤ松風 たとへ行平に捨てられてもナここにも一人色男

へ日頃くどくにびんしやんと そちはつれない糸なき三味よ ひくに

ひかれぬ我思ひ てんつてん／＼天と誓文たまらぬ／＼ なびけ塩

屋の夕煙り サッサ立つわいな そさまと浮名が立つわいな よんや

なよい首尾で

へエエなんの行平様より他の男は

へコレコレ／＼何んぼそもじがさう言うてもナ もうここにはおらぬアノ行平

へイエ／＼ソレソレソレ

へドレドレドレ

へソレそこに

へドレどこに エーありや松ぢやわヤイ

へアノ松こそは行平様 たとへ暫は別るるとも

へ待てば来んとの御歌を せめて頼みに松風が 狩衣ちやつと身にま
とひ 心のうさをなぐさめに 有りし詞をそのままに

へ此松風は何んとした

へさては我らをよそにして てつきり他に色事が有明の へ月のよすがに忍ぶ約束 相図の文をしめし候べく候かしく 大かたそんな事
である 待たるる身より松風ヤイ へあいと返事もどちよ声 つかつかそばへ寄り添へば へちやつと飛のき狩衣の へ袖をとらへて コレ何
ぢやいな

へ心憎いは 妹村雨

へ今は誰とてわくらにはに 訪う人もなき須磨の浦 一人残つてそも
やそも あらりよう物か情なや イデ追つかんと駈行くを へたとへ
荒波たちまちに 悪魚のえじきとならばなれ

へ可愛さあまつて憎さが百倍

へ恋しき人に淡路島 通ふ千鳥の翅をかつて へ空をも駈けり灘を
もしのぎ 逢はでおくべき女の念力 邪魔しやんすなど引き退けて
行くを止むるやぶ力 へ思ひは堅き望夫石 それは筑紫の松浦瀉
これは播磨の須磨の浦 へ磯打つ浪のおのづから 松に吹き来る風も
狂じて へどう／＼／＼さら／＼さつと降りしきる 村雨と聞きしも
けさ見れば 松風ばかりや残るらん 松風ばかりや残るらん。